

令和2年11月6日

## ～ “かいぼり” で自然を守ろう！みんなで自然環境について学ぼう！～ **大横川親水公園“万華池”でかいぼりを実施！**

墨田区は区内にある大横川親水公園“万華池”（墨田区石原4丁目13地先）で池に生息する生物の調査を行う「かいぼり」を11月5日（木）から7日（土）までの3日間で実施する。コロナ禍のため、広く一般区民の参加者を募集することはできなかったが、区登録ボランティア（すみだ自然環境サポーター）やすみだ水族館職員の協力のもと実施し、池の環境改善や自然環境保全の啓発を図る。

「かいぼり」初日の11月5日（木）午前10時、大横川親水公園“万華池”に約30名が集合。胴長靴、合羽などを着用して準備万端の様子。

「かいぼり」の流れを確認し、池に入り生物の調査がスタート。泥の中に隠れる生きものをなんとか捕まえようと悪戦苦闘。堆積した泥に足を取られながら、池に生息している生物の捕獲を行った。午前11時45分、1日目の調査報告が発表され、池の中にはエビや小魚等を中心に、コイ、ギンブナなどの合計13種・約3,000匹が今回捕獲された。

区の担当者は「コロナ禍で多くの区民の方と“かいぼり”を実施できないことはとても残念だが、今後“かいぼり”の動画配信など、新しい様式で、自然環境保全の重要性を区民の皆さんにお伝えしたい。」と意気込んでいる。

残り2日間も同様に調査を行ってくとともに、最終日の11月7日（土）には、すみだ子どもPR大使も参加して環境や生きものについて学んでいく。



## 「かいぼり」について

### 1 目的

平成26年度に「かいぼり」を実施してから6年がたち、ウシガエルなどの池の生態系に大きな影響を与える生きものが増えてきてしまいました。残念なことに、自宅で飼えなくなった生きものを無責任に万華池に放してしまうというお話も聞きます。

再び「かいぼり」を実施し、万華池がよりたくさんの種類の生きものが暮らす“にぎわい”のある池辺となることを目指します。

また、生きものを無責任に池に入れないこと、池の環境を良好に保全していくことの重要性を「かいぼり」を通して区民の皆さんに発信します。

### 2 実施日時

#### (1) 生きものの捕獲

令和2年11月5日(木)から7日(土)まで

11月5日(木)・6日(金): 午前10時から正午まで

11月7日(土): 午後1時30分から午後3時30分まで

#### (2) 生きものの放流

令和2年12月7日(月) 午前10時から正午まで

### 3 実施場所・範囲(平成26年度と同範囲)

大横川親水公園万華池(石原4-13地先) 約324㎡

### 4 かいぼり協力団体(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般公募はせず少数人数での実施)

すみだ自然環境サポーター・すみだこどもPR大使・すみだ水族館職員

### 5 今後について

今回の“かいぼり”の様子を撮影し、動画配信を行う予定。

## 大横川親水公園「万華池」及び、平成26年度実施の際の様子について

墨田区の大横川親水公園にある人工池：万華池(墨田区石原4丁目13地先 大きさ：約960㎡ 水深：約50~80cm)は、「東京都環境局レッドデータブック東京2013」で絶滅危惧種 類に区分されている「ベニトトンボ」が確認されたこともある、多様な生きものが生息する貴重な場所。しかし、池の整備から20年余りが経過し、水生植物が繁茂する等生きものが暮らしづらい環境となってきた。

そこで、区は、従来の生態系を取り戻し、豊かな池を再生させようと平成26年度に“かいぼり( )”を初めて実施した。“かいぼり”は、池の水を抜いて、堆積した泥などを取り除き、池の底を天日干しするもの。“かいぼり”を行うことで水質の改善が期待できる。また、“かいぼり”と同時に池に生息している生物を調査し、自然環境について学んでもらおうと小中学生も参加した。

当日は池に入り生物を調査できるよう、池の水を2台の排水ポンプで汲み取り、生物の調査を実施。参加者たちが、池の中に入り生物を捕獲した。長年堆積した泥に足を取られそうになり悪戦苦闘する参加者や、網をうまく使い次々と生物を捕まえる児童など、各々自然との触れ合いを楽しんでいた。

「かいぼり」後は、池に水を戻し、水草や在来生物のドジョウなどを戻し、水質や環境の変化を観察してきている。

「かいぼり」：池底の泥が空気にさらされ、泥の中に含まれる窒素が深い層へ移動し、リンが水中に溶け出しにくい状態になり、水中の栄養分が少ない状態になる。そのため、植物プランクトンが増えにくくなり、水質が改善するといわれている。